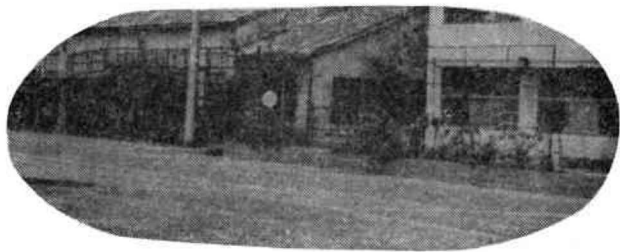
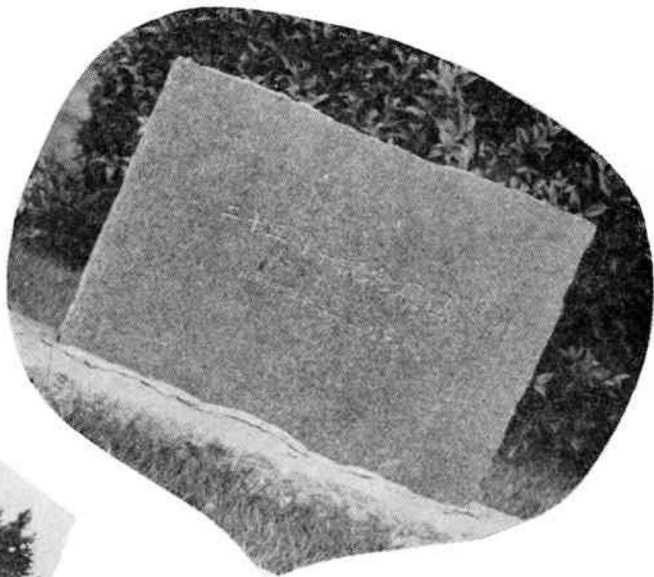
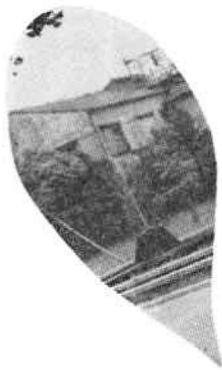
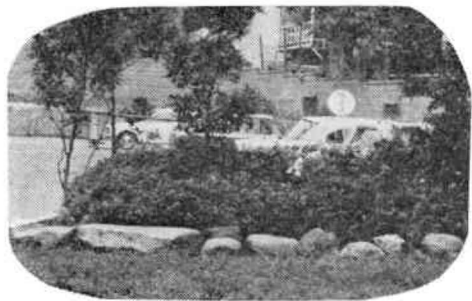


# 紫 筍



文京高校同窓會報 NO. 13







## 最近の母校

### 紫筍 第13号 目次

- 最近の母校
- 各委員会報告  
総務/会報/同期会/進路/会館  
ダンス/会計報告
- 43年度同窓会役員名簿
- 校旗寄贈 校歌制定
- 校歌
- 十字路  
住田季代雄/今野真佐子/鈴木嘉太郎  
郷田普也/川口正/松永節雄  
滝本義久/篠木恵子
- ラストコーラス  
小林政子/篠木恵子/橘紀美子  
橋立寛
- 43年度大学進学 就職状況
- 表紙のことば
- 紫筍のいわれ



## ▼各委員会報告▲

### 同窓会活動の主体的発展について

19 G 松本 一隆

同窓会活動の停滞や混迷、そしてその活動理念の喪失が叫ばれてから久しい。このような現実を突破するために、総務責任者としていかに活動し主体性を持つかという難題に対し、先代松井好彦氏も苦悩して、日常の活動を熱心にやっておられたと思う。そしてそれを発展的に受け継ぐべき責任が私にあると思う。

現在の同窓会活動は、上からの、つまり幹事による会員へのサービス機関としての役割が大きかったと言えるのではないか。かと言っても私は今までの活動を否定するものでもないし、これに対し批判する資格もないのである。しかし私が「サービス機関」であると言った現在の同窓会を育てて下さった諸先輩及び現在の役員に対し、新たな活動及び同窓会問題の本質的討論を提起したいのである。本年4月以来各部幹事による本年度活動方針の報告、長年の懸案である同窓会館の問題

及び、会報「紫筍」の役割に対し、各部幹事による白熱した討論を行ってきたのであるが、かかる同窓会活動論の問題点は、まず第一に、停滞の原因を本質的機能の喪失に求めんとする現状分析における機能主義に落ち入っていると言うこと。第二にその解決を始元的立場に呼号し、それに加えて活動の技術的手直しに安易に求めていることである。

第一の問題点であるが、機能の喪失は停滞の結果であり、それを論じることによっては何も解決したことにはならない。そして同窓会活動の停滞それ自身を「停滞」として自認することからは何の創造も生まれない。我々は「活動」の出発点において常に現実問題と敵対せざるを得ない主体の自己変革を不断に求めている。求められた接点を同窓会内において、構成員の相互変革として現実化していかなければならない。この目的意識追求の混迷として、同窓会活動の停滞が湧き出されているのである。第二の問題としては、その解決を、始元的立場を「いかに」といった段階において活動体制とか、方法とか言ったものを手直ししていくといった技術主義的偏向に落ち入り、そのような立場が極に達すると、サロン化ムードによる会員相互の親睦による見せか

けの解決になってしまおうのではないか。

我々は徹底した相互批判を展開し、同窓会活動の実践、及び主体性を確立して行かねばならない。

以上の現状の問題点を会員相互による変革として新たな活動基盤を築きあげ、同窓会の主体性を獲得しよう。

## 会 報

19 C 篠木 恵子

文京の「紫筍(しじゆん)」は個性がなくつまらないという事をよく耳にします。確かに○○高校同窓会誌「××」などというものはその名こそ違いますが、その内容たるや、現在の母校や如何に——校長先生の挨拶、先生方事務関係の方々の移動——、同窓会各委員会の報告と、その内容を一にしてしまう様です。今回紫筍編集を前にして、スタッフの頭を悩ませたのはその問題でした。が、しかし同窓会に与えられた課題とは一体何でしょうか。言うまでもなく「会員相互の親睦を深める」事なのです。その為に幹事は積極的に会員に働きかけ、会員の母校に対する気持の盛り上げを計るべきだと思っております。さて、



会員相互の親睦を深める為に幹事は何を成すべきでしようか。互の接点を数多く持つよう努力する事です。ここに贈る「紫筍」は文京高校を巣立った者達の一つの接点を成すものなのです。そして会員の方々全てに、限なく諸問題を提起し、報告できるという点で「紫筍」こそが唯一にして、最大の手段だと思ふのです。

さて「紫筍無個性論」についてであります。去において文京高校が在った事であり、現在において文京高校が在る事であり、未来において文京高校が存在するであろう事なので。紫筍の後には常に大なる我が母校があり、紫筍が文京高校同窓会の機関誌である以上、そこから何らかの内容上の拘束を受けたとしても、仕方ない事だろうと思ふのです。そのような制約の内、今回の紫筍は広く会員の皆様に原稿を依頼し、文京卒業後何年、何十年の現在の様子を載せる事になりました。そしてここに掲載しました方々の文章を読みつつ、同胞の活躍に拍手を送りながらも過し日の日々を懐しく思い出される方が沢山いらっしゃるだろうと思ふます。そして記憶の奥の方に追いやられてしまった文京高校

の存在が、一瞬にして又思い浮んで来るだろうと思ふます。と、この様な事を想像しつつ、暑さに追われるが如く編集に動んでまいりました。さて今回の紫筍は如何なものでしょうか。

紫筍発行の為の原稿集めが、来年こそは編集の前に原稿の選択に頭を悩ませる様な、そんな事を願いつつ、最後に忙がしい時間をさいて投稿して下さい皆様に、心からお礼申し上げます。

## 同 期 会

19 E 近藤 まり

私たち同期会推進委員会は、新入幹事を迎入れて一同とてもはりきっております。

しかし、私たちも他の委員会と同様、数々の問題をかかえている次第です。

そこで、もう一度、同期会というものについて考える必要性を感じました。

同期会は、同期生相互の親睦をより深めること、つまり以前同期会推進のチーフであった寺尾さんは、「卒業後いく度かの試練を越え心静かに過去を想う気持ちがある懐古趣味に終を止めず何年あるいは何十年後に、お

互いに会うことによって未来への展望が開ける、そこにこそ同期会の意味と目的がある。」と言っています。まったくその通りです。この点をもう少し皆さんに、認識していただきたいと思ひます。

さて、私たちの仕事は、同窓会幹事全員に「同期会を開いてほしい」という旨を、はがきで知らせます。これがすべてといつていいでしょう。ですから、他の委員会から比べれば実に簡単ではありますが、結果が目に見えてあらわれない気もします。つまり、実際問題としては、はがきを出したからといって開いてもらえるかという、なかなかそうは問屋がおろしません。ほとんど開かれないといつても過言ではありません。

現在は、卒業して三年間は同期会を開くことが、一応義務づけられており、通信費だけは同窓会から負担されることになっております。ですから、ここ二〜三年内に卒業された方は問題ないとして、そういうふうな義務づけられていない方々にむしる同期会を開く必要性があると思ひます。若いうちは、何かと集まる機会も多いでしょうが、だんだん年をとってくるとそうもいかなくなるのではない

でしょうか。特に十数年も前に卒業された先輩方は、幹事ももちろんのこと、会員の皆さんでも、「同期会を開きたい」とお思いになつている方が多いことでしょう。しかし、そう思つても打ち合わせをする段階になると、それを言ひ出す人がいないので結局、開きたいと思つても開かずじまいになつてしまふわけです。幹事の皆さん、お忙がしいこととは思いますが、もう少し、幹事であることを認識すると共に、横のつながりもがっちり組んでいただきたいと思ひます。

また、これは比較的新しい方の会員にみられることですが、同期会を開く際に、「人数が集まらないから、開くのをやめよう」ということになりがちです。しかし、それが成功したか失敗したかかわらず、「開いた」という意義はとて大きいと思ひます。もちろん成功すれば、それに越したことはありませんが……

今年は、新しい試みとして、同期会についてのアンケートをとりました。全会員の中から一〇〇名をビック・アップしてやりました。答えてくれたのは、わずか一〇%でした。もちろん、こちらにも手落ちはあったのですが、会員の同窓会に対するあまりの無関

心さにびっくりしました。わずか一〇%しか回収することができなかつたので、結果は出せませんでした。そのほとんどが、「同期会を開いてほしい」とありました。ですから、まだ開いていない方々は、どうぞ一回開いてみてください。今年開いた方は、来年でも二、三年後にでも開いてみてください。何もそんなに大げさにしなくたっていいのです。場所さえあれば、それからは皆さん自身の腕一つで決まります。

さあ、幹事の皆さん、あなたと同期の会員の方々は、「同期会を開いてほしい」と言っています。あなたからの連絡を待っているのです。

## 進路指導

19 G 保高 久夫

私が進路指導を受け持たされて、からまだ二年ですので、詳しい事はわかりませんが、一応私が経験した二回の活動の報告を致します。昨年は六月に、国立校、私立理科系、私立文科系の三回に別け、三週間にわたり(土曜日毎)行いました。出席状況は、国立校は卒業生十名、在校生視聴覚教室ほぼ一

杯、みな積極的に意見を述べていただき又在校生も活発に質問が出て卒業生は大変でした。私文系は卒業生8、9名、在校生視聴覚教室半分程度女性がさすがに多く、僕としては大変うれしかったのですが、私理科系は卒業生10人に在校生もおつき合いよろしく10名程度で本場のマンツウマンでじっくり話し合っていました。

ここで一様、会の進行を説明致しますと、まず卒業生諸氏に貴重な意見、体験を話していただき(一人ほぼ五分)、在校生より質問を受けそれが終わりますと、学校別(個人別)に分れていただいて在校生と心ゆく迄話していただくわけです。さて今年はいいますと、六月十五日(土)に行いました。今年は一日で文科と理科に分かれ、参加者は理科系、卒業生八名、在校生、教室いっぱいですから五十名程度、文科系卒業生、七名、在校生、七十名程、私は理科系の司会をしていたもので文科系の方はわかりませんが、今年の三年(二年一年もいたかも知れませんが)は昨年と比較しておとなしく、積極性に欠けているように思えました。が一部の人は卒業生をしつかりとつかみ遅く迄話しをしていたようです。会が終り、会議室で卒業生同志、先輩後



輩の間で話しの花が咲き、暗くなつてから学校をあとにしました。

ここで個人の勝手な事を言わせただきたいと思います。

そもそも同窓会とはなんの為にあるのかといえ、同じ学校で学んだ者同志の間をうまくとり合つて行く、これだけの目的の為に存在するのではないのでしょうか。進路指導はその同窓会の一機関にすぎませんが、唯一の在校生と接触できる機関です。ですから、どんな利用していただきたいのです。先輩、後輩の縦のつながりも、同輩の横のつながりも、そして在校生諸君、君達の今まで知らなかった先輩と話し、教えをどう事も出来るのです。ですから進路をどんどん使つて下さい、同窓会役員に伝えて下されば、私はどんなに聞くつもりです。女性の方もどしどし出て来て下さい、後輩にも女性がたくさん居ます、その人達の為にお願ひします。

今年では出来ることならあと二回やりたいと思ひます、一回は大学二〜三年生をお呼びして、大学生活、その他、色々な事について、そしてもう一回は浪人の方々をお呼びしてお話しをうかがう会を開きたいと思ひます。この時は父兄も呼んでやってみたいと昨

年から計画を立てているのですが、先輩方、その時は色々ご協力をお願いするかも知れませんが宜しく願ひします。

### 同窓会館への道の問題点

18 I 徳河  
19 D 小野  
明修

紫笏十号に掲載致しました特別レポート

「同窓会館が欲しい」の声は、その後三年間に渡る各委員の努力にもかかわらず一向に進展を見る事ができませんでした。その理由は金銭的な問題（つまりどの程度のものを作るのかと言うこと）と会館に対する同窓会員の意見が明らかにされていないという事でした。そこで同窓会館設立委員会としては、会員の会館に対する意見の実態を把握する為にアンケートを取りました。その報告をこの紙面を借り発表させてもらいます。又同様なものを在学の三年生（彼等は来春卒業と共に同窓会入会を予定されており、会館建設に当り大きな力になるものと考えられます。）を対象に実施しました。

(注) アンケートの対象と人数

- ① 同窓会員 各期四〜五名程度約一〇〇人
- ② 在校三年生全員 九クラス約四三〇人

※場所は無視しました  
《アンケート》

#### ① 同窓生

(注) 建設費のみ

- A (一千万円) 62%
- B (五百万円) 30%
- C (百万円) 8%
- D その他 2%

#### ② 在校三年生

※男女別(%)

(男) (女)

- A : 44 29
- B : 41 60
- C : 8 9
- D : 7 2

Dは①の場合のみ設け、意見を書いてもらいました。多くの貴重な意見を述べていただきましたが、積極的反対はございませんでした。②の場合Dは設けませんが積極的反対が数パーセントありました。同窓生と在校生の考え方の相違ではないでしょうか。又、②の場合女性がBに集中しました事は、近年の女性会員の増加を考えると一つの重大な事です。

右のアンケートの結果を考えてみますと、

もし会館を建てる場合にはBに見られるように大多数が五百万円以上の、ある程度の広さと設備の整った施設を望んでいると思えます。しかし後で述べる様に、一口に五百万円一千万円と言う事は簡単ですが、会員数約七千人の文京高校の同窓会ですと一千万円の場合では会員一人当り千五百円位(これは全員が寄付した場合)となりますが、実際問題として会員全員より寄付を集めることは不可能ですので、一人当りの金額は増加するものと思えます。しかしながら他の都立高校同窓会で会館を持っている事等を考えますと、同窓会員一人一人の熱意を持ってすれば可能な事と信じられます。

次に具体的なお問題を述べます。  
どの様に利用できるか——

同窓会本部。現在同窓会事務一切は母校の一部を間借りして行なわれている為、同窓生の記録保存・進学・就職・嫁ぎ先等の掌握・備品保管等の点において同窓会事務に支障をきたしております。

さらに卒業間もない同窓生は将来の進路について相談の為母校を訪れる場合、職員室の片隅で、或いは廊下の片隅等の場所でしょうか先生活と話し合いをできぬ、という現状を生じ

ております。このことは担任の先生の他校への転出に伴ない一層の悲劇的な状態を生んでおります。これは浪人生だけではなく同窓生すべての共通問題となり「母校に同窓生の落つける場所を」という素朴な要求となつて現れております。

上記の事例は同窓会館の本質的な要請となるもので、早急に解決されねばならぬ問題ではないでしょうか。

会館の設立により同窓会事務の一元化、同窓会の母校訪問によつての先生方との忌憚なく話し合える相談場所、次第に足遠くなる母校においてのクラス会等の開催場所として利用されれば、価値は無限のものとなり得ましょう。

他に進学の為の浪人生、国家試験を受けるべく勉強する大学生、同窓生による「お茶」やお茶等の会合、勉強への場としての開放も期待できるのではないのでしょうか。

——どこに建てるか——

学校内の敷地に建てるか、学校外の敷地に建てるかに二分されます。それぞれの長所、短所を述べますと、学校内に建造する場合は土地代は不要となりますが、同窓会の資金で建設し都へ寄付することになりますので当然

都の管理下に置かれます。そのため上記の利用状態はほぼ充されたいと思われませんが、建造物の改修増築は一切学校を通じて都に申請し許可を得た後でなければできません。さらに時間的制約・会館運営上の不便は多少存するものと思わねばなりません。

学校外の敷地に建設する場合ですと土地代が大きな問題点となります。現状では大塚近辺に空地を見つけることはむずかしく、さらに資金も大幅に必要となります。会館運営は自主規制となり制約等は消滅しますが、文京高校から遠く離れた所では上記の利用面が十分充されないのではないのでしょうか。

——費用および資金の調達——

資金は多ければ多い程豪華な建物ができることとなりますが、結果的には集った資金で建てざるを得ません。資金調達方法として、ひとつは一口千円程度の寄付を会員の皆さんに、仰ぐこと、他のひとつはクラス会、同期会に基礎を置き、一期何十万・二期何十万と同期を単位に資金を集めて行く方法。その際卒業生の数、あるいは年齢等による経済的背景を考慮しなければなりません。

この二つの方法を並用することが効果的かと思ひます。



個人当り何千円何百円と決めることも可能と思われませんが、相当数、蒸発した会員もあり、音信不通の会員もおりますので、クラス会等に基盤を置いた方が適当かと思われます。つきましてはクラス会の幹事の皆さん、同期会の幹事の皆さんの御協力と御理解を仰がなければ挫折する結果とならざるをえませぬ。現在の同窓生からだけでなく、将来の会員からも何らかの方法で資金調達に加わってもらうべきではないかとの考えもありませんが、建設の暁には会館運営費を支払ってもらうことになりましょう。

さて次に、学校の敷地内に建設する場合、一千万円・五〇〇万円・一〇〇万円集める時、各期毎にどのくらいの金額を負担しなければならぬかを試算致しました。一口千円の寄付が皆無であったと仮定しております。表一参照。

表一の説明を致しますと、一千万の資金を集める場合、旧制第一期は六〇万円、新制第二期は十八万円を集めなければならぬことになりました。試みに、一人あたりの金額を割り出してみますと、旧制第一期卒業生は三〇〇〇円、新制第二期は四百円となります。これは経済的一般的な背景を加味したもので

す。表一は概策であることをつけ加えておきます。

次に資金集めの期間ですが、一千万の資金を集める場合、或いはその他の場合にもですが、これから三年内に調達できることを目標にしております。以上費用および資金の調達について簡単に述べました。

— 管理および維持 —

学校の敷地内に建設した場合当然学校を通じて都の管理下におかれ、維持についても高校にお願ひすることとなります。その際利用についても在校生との共同利用という形態ではないかと思われます。

学校外に建てる場合は専属の管理人に住居してもらい管理維持していくことになると思ひます。



表一（金額は万単位）

期	級数	人数	金額	期	級数	人数	金額
一	D	約200	約 60	9	F	300	42
二	E	250	75	10	"	"	42
三	"	210	75	11	"	"	42
四	C	90	30	12	"	"	30
1	A	60	15	13	"	"	30
2	D	180	50	14	G	350	35
3	E	250	55	15	H	400	24
4	F	300	66	16	"	"	24
5	"	"	66	17	"	"	24
6	"	"	54	18	J	500	20
7	"	"	54	19	I	450	18
8	"	"	54	20	"	"	18

## みんなと踊りましょう!!

十三期 三橋美千代

風鈴の音も秋を告げる頃、夜長を楽しみつつ、ちよつとオセンチが顔を出す。あゝ、懐かしきは学生時代。……。夢多き高校時代!。

同窓の皆さん。ダンス部の会合に行らしてみませんか。ここでは机を並べて一・二を争ったメガネ君にも、御尊敬申し上げていながら何故かお話が速かった彼の君にも、苦勞?を共にしたクラブの先輩にも etc、その上幸なるかな、御無沙汰し通しの先生方にもお会いできて、語らずともリズムに乗り、和やかにうちに若き日を思い起こす事ができます。又旧交を改めるばかりでなく、新しく友を得、楽しいひとときを過す事ができますでしょう。

ダンス。それはそれは楽しい



ものです。初めての方は先ず講習会へどうぞ。いいえ、パーティーから来て頂いても結構です。そういう方の為に歓談所(写真上)を用意します。

それではもう少し具体的にお話ししましょう。

### 一、目的

『文京高校同窓会ダンス部』その名の如く同窓会活動の一環として、『会員相互の親睦を計り、併せて母校の発展に協力する。』という一大目的を持っています。

### 二、幹事と運営

幹事は皆さんの御意見等を常に察知し、これをもとに考え練り貫いて、全員に御満足頂けるような運営を心しなければなりません。幹事ですが、現在のような組織発展の基を作り今尚御尽力頂いています中屋澄子先生を顧問に、昨年秋山畑田鶴子氏(十五期)より引継がれた岸本昌次郎氏(五期)を部長に、以下十人います。この十人は学校より直接指名された方と、講習会出席者の中から互選された同窓会の承認を得た方とです。それは対外的な交渉が多く、またダンスに多少興味をお持ちでないという特殊性からです。理想としては、学校、ダンス部の別無くあら

ゆる年層からお声だけでも貸して頂いて、より良い部を作って行きたいと思えます。

### 三、活動

以前の活動を御存じの方も多いと思えますが、残念ながらここ数年間は音沙汰無く来ました。そしてかすかな音を立て始めたのは一昨年の春の事です。活動は大きくは講習会とパーティーですが小さくは部内幹事会、同窓会との連絡会、事務整理等中々忙しいです。

先ず講習会ですが、一昨年夏以後三年にわたり今秋のような内容で、渋谷で一回、銀座で三回行いました。いずれも同窓生を中心とした七〇名前後の熱心な参加者があり、御好評を得ることができました。御希望により恒例として続けていく考えでいます。

パーティーも、小規模な講習会後の毎回の





お・さ・ら・い・パ・ー・ティ・ーと、一昨年秋・科学技術館にて今春・三会堂ビルにて(写真左)で計五回行いました。今年のパーティーではダンスそっち除けでお話していらっしやる姿や、又お一人で心配顔で行らした方が帰りには次回(の事をお尋ね下さるといふこと)もありまし



た。今後のパーティーは、運営能力からみて今年迄のように別個にはせず、おさらいパーティーと兼ねたり、同窓会の会合を兼ねたりして行おう予定です。

#### 四、今秋の講習会及びパーティー

##### 〔講習会〕

日時 十月第二週以後の日曜日に四回。

十時三十分より十二時三十分迄。

会場 文京印刷会館(都電大塚三丁目下車、徒歩一分)

会費 一四〇〇円(講習料、パーティー券代、雑費とも)

講師 本田季久富美子御夫妻ほか。

種目 A組(初級全く初めての方)

1、ルンバ、マンボ 2、ブルース

3、ワルツ 4、ジルバ

B組(中級初級卒業程度の方)

1、キューバンルンバ(次回はチャチャ)

2、タンゴ 3、ワルツ 4、ジャイヴ

参加資格 同窓会会員又は会員の知人

(パーティー)

日時 講習会終了以降の土曜日。

午後六時より九時迄。

会場 三会堂ビル(虎の門)の予定。

会費 四〇〇円

今回も校友のデモンストレーション(写真左)を予定しています。



尚案内希望の方は同封の葉書きに〇印をどうぞ。また問い合わせは、豊島区高田一〜三一五 高森こなみ TEL(082) 6043

時移り幹事代って何度模様変えされようとも、ダンス部はダンスの技術向上を通して、母校のある限り、いや文京生の居る限り、現在のせゝらぎは成長し、行く末とうとうと流れる大河のように、何万とうとうと心を繋ぐ場として、幾千代も続くことを願って止みません。

昭和43年度同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒業年組	電 話	職 業・学 校
会 長	渡 辺 剛 章	20 A	811-7704	弁護士
副 会 長	赤 坂 正 雄	20 C	0498-31-2925	文京高校 教諭
会 計	西 岡 弘	20 C	811-6311	文京高校 教諭
監 査	静 谷 晴 夫	23 B	982-9856	三育会病院 産婦人科
書 記	定 方 昭 夫	38 D	911-3125	都立大(人文)
総 務	赤 坂 正 雄	20 C	0498-31-2925	文京高校 教諭
	加 藤 友 章	26 D	0474-67-6871	文京高校 食堂
	松 井 好 彦	41 G	941-5758	
	松 本 一 隆	42 G	946-2943	理科大(理工)
	山 口 容 子	42 A		
	宮 寺 和 代	42 H	957-1700	東京学芸大(教育)
	松 枝 真 平	43 B		
	佐 藤 世 志 子	43 B	900-8815	
名 簿	佐々木 庸 子	43 F	946-5872	八幡製鉄
	永 盛 まち子	42 B	911-0777	東京学芸大(学芸)
	手 嶋 寿 祥	42 I	963-1691	
	田 中 昭 三	43 A	956-4398	
	宮 井 貴代美	43 A	939-3252	
会 報	藤 井 卓	43 F	814-8808	上智大
	篠 木 恵 子	42 C	917-8970	住友商事(電材課)
	橋 紀美子	42 E		教育庁
	小 林 正 子	43 D	953-1928	朝日生命
	橋 立 寛	43 G	918-0964	電通大
	服 部 恵 造	43 C	930-5694	
クラス同期会	大 芝 博 明	42 I	918-3458	
	近 藤 まり	42 F	811-3833	独協大(外国語)
	星 野 久 男	42 E	961-9567	法政大(経営)
	吉 川 緑 朗	42 A	919-2797	
	水 野 いく子	43 C	0484-61-6769	
	福 島 進	43 D	973-1563	
進 路	保 高 久 夫	42 G	801-1948	電機大
	清 水 勇 芳	42 H	982-4181	上智大(工)
	和 田 英 雄	42 F	0472-52-7245	一橋大(社会)
	吉 川 博 晶	43 E	908-4507	
	西 真理子	43 G	0471-67-7848(呼)	
会 館	徳 河 修	41 I	971-6220	
	小 野 明	42 D	956-1342	中央大(法)
	桑 山 真由美	42 D	960-2476	埼玉大(教養)
	小 林 伸 子	43 E	961-0095	
	伊 奈 建	43 H	814-1085	慶応(工)
ダ ン ス	佐 野 雅 章	42 B		
	藤 沢 洋二郎	42 C		
	山 崎 紀 子	43 I	404-8009	



# 昭和42年度 都立文京高校同窓会 会計報告

昭和42. 4. 1～43. 3. 31の間の会計は次の通りになります。

昭和43年 3月31日 会 長 渡 辺 剛 彰  
会 計 西 岡 弘

監査の上、正確であることを確認します。

会計監査 静 谷 晴 夫  
" 定 方 昭 夫

## 1. 財産目録 (43. 3. 31)

イ 貸付信託 (基本財産)	1, 890, 000円
ロ 現 金	238, 668円
ハ 物 品	①両開き書庫 ②ハガキ印刷器 (2台) ③書類入れ ④手提金庫 ⑤ヤスリ板
ニ 郵便口座 伝票 ④	232, 660円

## 2. 収 支

(収入) (1, 594, 145円)	(支出) (1, 355, 477円)
入 会 金 998, 800円	各 部 活 動 33, 800円
利 子 101, 288円	会 報 194, 150円
繰 越 312, 557円	通信ハガキ 53, 000円
名簿代・寄付 81, 500円	名 簿 378, 260円
貸付満期 100, 000円	同期会補助 13, 300円
△郵便振替口座・ 名簿代寄付金 (232, 500円)	事 務 費 20, 000円
	通 信 費 13, 417円
	校 旗 雑 費 119, 530円
	母 校 後 援 10, 020円
	貸 付 信 託 520, 000円
	(4月満期12万の継続を含む)

文京の校歌が決りました

文京の校旗が

寄贈されました

校旗寄贈

一月八日、母校始業式の席上、渡辺剛彰会長から丸岡前校長に、紫の地にくっきりと浮き出した金色の校章をつけた校旗が満場の拍手のもとに手渡されました。  
戦災で焼けた校旗が、三十年近い伝統をこめて、ここによみがえったわけです。  
次に寄贈にご協力頂いた方の氏名を載せ、感謝の意をあらわします。

河 沓 内 今 水 青 渡  
野 掛 田 関 谷 木 辺  
照 千 淳 義 英 剛  
進 雄 里 子 文 昌 彰

大 泉 磯 石 池 天 秋  
石 貝 川 沢 本 山  
隆 誠 俊 佳 則  
紹 一 昭 子 正 子 満



# 校歌

惟のちが枝ふく

花葉に花葉に

ふよ誠意こそつら

中しく知り

高士し

まを

は

尺上

菊

あ

名

か  
女  
ま  
ま  
ま

か  
ま  
ま  
ま

か  
ま  
ま  
ま

か  
ま  
ま  
ま

か  
ま  
ま  
ま

一九〇六年二月

土岐甚磨



# 校歌

おおらかに意気高く (♩ = 100 ca.)

土岐義彦 作詞  
平井泰三郎 作曲

→ し い の か が - え た ふ か く し げ れ る と こ う  
⇒ い ざ - こ ぞ れ - す こ や か に し も き も し の き

わ か ば に お ち ば に い ち ぢ の - か ぜ あ か る し - つ ね  
み どり の し ば は ら も え た ち は な さ く と き - か く

に - せ い い を つ う ら ぬ く ち か ら  
て - せ か い の う ち ぬ る ひ と り

に た だ し く し り ゆ く や ち こ び あ り て  
と た が い に は げ ま し た ゆ ま ず す す み て

ふ じ ろ も ば れ た り つ く ば も く も な し - せ い  
ひ ち ろ く け た か に き ぼ う を か た れ ば - ゆ い

し ゅ ン さ う に - み ら ら - い あ り  
じ ゃ う た え ず - あ ら - た な ⇒ り -

Coda.  
み よ む ら さ き の は た さ く こ そ か が や け - - - わ

れ ら の 高 校 - 名 - は - ふ ぐ ん き ょ う

~ Feb. 1968 ~

# 路 字 十

時は人を待ってくれない。  
人も絶えず変化していく。  
人は一体何を考えているの  
だろうか。

## 横腹のエグれた

### エルム

#### 住田季代雄

北海道の夏は短い。そのせいか雪が融け始め、そろそろ草木の新緑が目立ってくる。気の良い早い観光客が北大キャンパスに現れる。クラーク先生の胸像の前で、記念撮影をしたり、付近をきよらきよら眺め回して帰っていく。「この寒中、おもしろくもない北大によく来るね」と、写真をうつしている観

光客を横目で見ながら、学校に通っていたが、五月、六月ともなれば、いままで、長い冬に押えられていた草木が、いちどきに花を咲かす、可憐なスズラン、ライラック、歌にも歌われたアカシヤ、これらがほのかな甘い香りを漂よわせてくれる、こうなっていると、観光客と言うよりは、観光団、修学旅行の生徒達も混ってアリの行列のように、あとからあとから、ひっきりなしに続く。毎日人は変わるのだから、こちらにして見れば、*「よくも飽きもせず来るわい」*

バスガイドの説明を、ぬすみ聞きすると、こちらが旧札幌農学校校舎跡だとか、クラーク先生の像だとか、北大は別名、緑の学園、エルムの学園とか呼ばれております。……なるほど、北大は緑が多い、中央ロンの芝生は、澄みきった青空によくマッチしている。農学部の前、理学部の横には、何本ものエルムの大木が植っている。

そのうちの一本に、横っ腹に大穴があいているエルムがある、もう何年この場所に立っているのだろう、ゆうに百年は越えているだろう、百年もの間、風雪に耐えてきた、この老大木は、いま何を思っているのだろうか、開拓使、屯田兵の振う斧の音を聞き、農学校

生徒の歌う寮歌にひたり、戦争の暗い日々を送り、敗戦の日本の空虚感を味わい、今では全学連が発する安保粉砕のシニプレヒコール……ただじつと聞いている老エルム、お前は、北海道開拓の生き証人だ、しかし、横腹をエグられたおまえは、もう先は長くないだろう、老大木エルムよ、お願いだ、おまえが朽ち果てる時、僕に語っておくれ、波瀾に満ちたその一生を、しかしおまえは物言わぬエルム、だけど、おまえの前に立ち、その雄姿を仰ぎ見る時、おまえは、いつも、僕に語りかけてくる。青年よ！ 大志を抱け！

## 文京白門会

### 第一回総会

（文京高校卒業生による  
中央大学在學生）

時・十一月七日（木）

P.M 5:00 ~ 7:00

所・決定しだい郵送により  
連絡



# 私の家

今野真佐子

私は、自分の家というものを、未だに持っていない。結婚するまでは、親の家で過していたわけです。結婚してからは、主人の家に同居しているから……

女性は、いや、結婚した女は、自分の家といえるべき家を持つことは出来ないのではいなか。うか。

結婚する若いカップルは、自分たちの家、私たちの家、又は、二人の家を持ちましよう、と語り合う。しかし、そうして、話し合ってもった家でも、女性の方からみて、真実に、自分たちの家、二人の家という自覚を持つてののだろうか。

私の場合、現在、住んでいる土地、建物、すべて、彼が、探し、求め、造り上げたもので、私は、それら、すべて揃った後に来た。その為、ことさらに、この家を、自分の家、自分たちの家、ということが出来ないのかも。しれない。あくまでも、こゝは、**「彼の家」**としか思えない。このことは、**「私自身は、もちろんのことだが、一生を共にする彼にとつ**

ても悲しいことだろう。一日も早く、この**「彼の家」**が、**「私の家」**、私たちの**「二人の家」**となるには、今後の私の心がけと、毎日の生活態度によって、必ず、来ると信じている。しかしながらその日までの道は、きびしく、長い、もしかしたら、果しのない道となるかもしれない。が、出来る限りの努力をしてゆこうと、思っている。

## ひとつの慰安感

鈴木嘉太郎

私は、日本原子力研究所でも、一番新しい炉である、材料試験炉に勤務しております。今年の3月30日臨界に成功したばかりか大変な安産（一日も狂わぬ工程）で、昭和43年3月30日3時39分というおまけ付です。大洗の夏海岸を見おろす巨体はピンク色の屋根も、はずかしそうな直径50mというシロモノで、連日見学者が絶えません。

私の仕事ですが、燃料管理、運転計画作成等、事務屋と技術屋の橋渡的存在で仲々に大変ですが、やりがいのある分野だと思っております。私が当研究所に入って感ずるに、良い意味でのジェネラリストたらんと思う

人、そういう人の前にジャリは多いが一筋の太い道が開けるのではないかということです。

千億の恒星を持った銀河系宇宙、千億の人類を誕生せしめたわが地球、私の眼下の原子炉、その炉心の中性子、核構造、これらは、まったく同じもので同じ価値のものと考えてほしいのです。

なぜかといえば、こう考えることが、無限の宇宙で、散って行くことを知っている我々の我々自身に対するひとつの慰安感となるのです。

モンモンとしたスペシャリストでも、

御自由に……

また、武蔵工時代に、作曲等をやり、はからずも、江利チエミやスパイダース、バラキン等が、レコードにして歌ってくれました。次回はそんな話でも……。

## 近況

郷田 晋也

教室から望む馬事公苑の桜も、キラキラと輝く青空に鮮やかなグリーンの葉を精一杯広げています。

文京高校を卒業してもう二年になります  
が、それを「二年二回と半年一回」という感  
じでなくて、一つの連続した期間と考えられ  
るのは、現在の、衆議院速記者養成所の卒業  
を目前に控えているからでしょう。

大学に落ちて、行くところがなくなつたの  
で何となく入ってしまったような感じのする  
この学校ですが、入学当初の意気込みやその  
ほかいろいろのことが、もうずいぶん昔のこ  
とのように懐かしく思い出されます。もつと  
も、授業内容のきびしさに閉口して、「これ  
はエライ所に入ったもんだ」と思ったことだ  
けはまだまだに少しも薄れていません。そして  
この気持には、これからも速記を知られば知る  
ほど、ますます悩まされそうです。

それとはにかく、最近では就職試験も真近に  
迫っているので、どうも落ちつかない毎日だ  
す。最後の夏休みを大いに楽しんで過ごした  
いという気持と、試験に備えて勉強しなけれ  
ばという思いとのジレンマで、遊ぶべきか、  
はたまたま……とハムレットの心境です。もつ  
ともかぜ気味だった体がだんだん快調になつ  
てくると、海にも行きたい、山にも行きた  
い、はては財布に無断で東北旅行まで計画し  
だすしまつて、ハムレットもだんだん影が薄

くなっています。

とにかく、いまは一日も早く実際の仕事を  
して、胸を張って提出できる立派な作品をつ  
くってみたいというのが本音かもしれませ  
ん。

ごきんのさん

35

## 川口 正

アナウンサー稼業九年になる。岡山をふり  
出しに京都大津と、宿場いや職場が変わり、  
コトバ・人情・習慣のちがいに、戸惑いや失  
敗も幾度か……。アナウンサーといつても、

ローカル局のアナウンサーは、所定の原稿を  
読むだけでなく、番組も制作するたてまえに  
なっている。シヨルダー（録音機）をかつい  
で、話題、問題のあるところ、東西南北、出  
かけて行き、関係者の声や現地のノイズを収  
録する。帰局してから、ハサミとノリ（接着  
テープ）を使って、文字通り、切ったり貼つ  
たりの編集作業。科学技術、機械文明の発達  
した今日でも、まったくの手先の作業——。  
テープ編集のあいまには、ローカルニュース  
の放送もあり、プロデューサー制作番組の  
『パケ』（前・中・後に枠アナウンスを入れ

て、ひとつの番組テープに完成すること）も  
あり、といった状態——。したがってローカ  
ル局のアナウンサーは、一日に読む放送原稿  
の時間よりも、番組制作に要する時間のほう  
が、はるかに多い。

ところで、好むと好まざるとにかかわら  
ず、アナウンサーになりたての頃は、一応な  
んでもエナセルようにといるいるな仕事の物  
が与えられる。だから野球中継の苦手なわた  
しも、高校野球の県予選などを実況すること  
になる。——放送開始の時刻。おなじみNH  
Kのスポーツテレーマが鳴り出す。終つて、放  
送ラインが球場の放送席へ切り代り、球場の  
ノイズが、イヤホンに一杯ひろがる。

後に立っているプロデューサーの手が、わ  
たしの肩を軽くたたく。これがQ（合図）だ。  
一呼吸あって、『お待たせいたしました。こ  
ちらは××球場です。白球を追い、つかみ、  
投げ。あるいは、打ち、走り、すべり、汗と  
泥にまみれながら甲子園を目指す、夏の全国  
高校野球選手権大会、××県予選の決勝戦。  
この一戦に駒を進めてまいりました〇〇高校  
と××工業、すでに両チーム、守備練習を終  
りまして……』と、イントロはまあまああの調  
子。しかし、試合が進み、交錯プレーが演じ

られ、乱戦模様となると、舌と口の動きが鈍くなり、かけ出しのアナウンサーは、コントロールが乱れに乱れて四苦八苦。およそ二時間、熱風とグラウンドの砂塵が舞い込む鳥小屋（球場放送席）での実況アナウンスは、選手以上にスタミナが必要である。何しろ、試合が始ったら、アナウンサーには、チェンジがない、交替もない。これも修行のひとつだとあきらめてはいるが、因果な商売（？）だと思ふ。

さて、聴視者参加番組が多くなった為か、いわゆるマイクをこわがらない人が多くなった。もともと、これは若い世代に共通のことだが、モノおじしないという態度である。ローカル放送の「のど自慢」の司会をしていると、とくにそういうことが感じられる。反面、マイクにかみつかんばかりに顔を近づけて、大声で歌い出す人もいる。大体、中年以上の人だ。そんなときは、出場者に近よってマイクから離れるように手で合図したり、肩を軽く押してやったりする。だが、本人は緊張と夢中でコチコチになって、ちっとやそっとでは動かない。わたしと技術係は苦笑し、観客はよろこぶ……。そんな些細なことが、舞台と客席をひとつにむすびつけるキッカケ

になる事もある。

十五年やってアナウンサーは一人前という。とすればわたしは、まだ〇・六人前。五分の三である。前途はキビシイ……。 (完)



## 医者という仕事

松永 節雄

まだ昔はよかったとか、昔はこうだったなどと感慨にふける年でもないのに、文京高校（旧東京市立三中）卒業以来早や二〇数年が経ってしまった。

大学を卒業し、医局でのアルバイト、開業と無我夢中で過し、ふっと最近我にかえると月並に果して人生これだよいのであろうかと思われる。平均生存年数が上昇したとはいえ既にその半ばも過ぎ、暮し方を振り返ると

何か虚しいものの様にも思われる。

啄木だったか、人が皆偉く見えると、コンプレックスに陥っていた詩があった気がするが、私としてはそれでも自分の現在の職業を選んでよかったと心から思っている。

よく我々の集りでもこんなにつらい割の合わない職業はない。自分の子供だけには継がせたくないとかぼしている人々も大勢いるが、私はそう思わない。確かに人の寝静まる深夜凍てつく道を一人コツ／＼と歩いて住診する時、夜半睡い目をこすりつつ診察する時、成る程もつと／＼楽で収入の多い仕事もあるだろう、辛いなあと思わない事もない。

世の中には技術関係、研究関係その他本当に自分の職業を誇りとして愉快に日々を送っておられる方々も多い事だろう。

しかし私も自分の職業を誇りとし大切に、職業イコール愉しみにする様に努力をしている。

即ち難解な症例に当たった時、本を読み、文献をあさり、検査を考える。そしてそれが考えた通りの結果となって診断通り全治する。その愉しみは万金にもかえがたい。しかしそれもやたら難治の症例をこねくり廻しているうちにとう／＼手遅れにしてしまつては大変

で、その辺の呼吸が難しい。

先日も六十過ぎのお婆さんだが家庭で嫁姑の関係で家に居つらい。その人が数年前より時折り40℃の発熱がある。息子達が心配して病院へ行く様にすすめても肯んじない。私の所で診だして数日経つても一向に熱が下がる様子がない。色々と薬を使つてみて、最後に胆のう炎だろうと云う事になり、胆のうから細菌を取り出して原因菌を調べる事になった。もしこれで原因の細菌が判れば入院しなくてもよいが判らなければ入院だよと云った。お婆さんは最後二回にわたり必死になってゴム管をのみ込み何とか入院したくないと頑張ったもののどう云う加減か十二指腸迄ゴム管が進まない。起したり、立したり、歩かせたり色々と工夫したが頑として入らない。入らなければ嫁さんとの約束で原因不明だから入院させねばならぬ。嫁さんとしては、口うるさい姑が熱があつてその上に口うるさくてはかなわないと云う所なのだろう。しかしこのお婆さん幾ら私が入院をすすめても「私の体私が一番よく知っている。三年も続いた熱がそんなに簡単に下がってたまるか。どうか助けると思つて入院させないでくれ。」私としては助けたいから病院へ送るのだと

伝つても、どうせ入院しても同じ事。それから先生の所で死なせてくれとどこか気に入つたのか病院への紹介状も破つて私の所で頑張つている。

嫁さんは私が故意に入院を遅らせているかの様にとつているのではないかとこっちも気がねする。こんなやりとりを毎日しながら三ヶ月も過ぎると何時の間にか平熱に近くなつて仕舞つた。

これ程までに患者さんから信頼されると、よしどうにかしてと一生懸命になり、欲得を離れて頑張り、つくづく医師冥加につきたものです。

近頃医師对患者さんの所謂相互信頼がややもすれば失われつつある昨今、矢張りこちらが誠意を以つて当れば誠意を以つて対してくれるのかと一人で心嬉しく、医師になつて本当によかつたと思つた事でした。

息子にもし医業の跡をつぐ気持があるならば開業しても「考える医師」になれと教える積りです。

☆  
☆  
☆

伝説もしくは遙か近くの

センチメンタル・

ジャーニー

滝本 義久

はじめに伝説がある(という伝説もあるから、ぼくらはブーヴィルやブレストンを彷彿わねばならないのだが)ことへの途惑いを、鏡をのぞいた時の恐怖へと転化し得るのが、しばしば、いやむしろいつも他の伝説に塗沫されているのを忘れている地点においてであるのは、それらが感性的にとはいえ、在ると断言せざるを得ない以上、当然だとしても、僕は葬列の散歩道で口遊んだワルツを写譜する以外に、書くことの求心性を認められないし、柩の構造や風景のトーンを描写して、新たな伝説を造り出すことなど、むろんまっぴらだ。

だが、ニザンの「ぼくは二十歳だった。それが人生のもっとも美しい年齢だなどは、だれにも言わせまい。」という決意は、さしあたっての僕に、とても親しい。この決意が僕を侵略しているからには、幾つかの伝説たち

は死につつあるに違いない。ぼくらが「美しい十代」に有るといふ伝説は、「帰って来たヨッパライ」が、まさにアングラ的に十代の支持を得た時、崩壊したかに見えたのだが、どっこい伝説の柔構造はそれを「……ベスト・テン」に吸収することによって、たくみに非在と不在のすり換えを行い、依然として位相をぼくらに託そうとはしない。で、僕は豊満な死へのなしくずしの発光過程に、羊水にむせかえって非常な春であるかのように在ったのは、僕が硬質な夢を許していたからだろうと思っていたにもかかわらず、それがヴィヴィッドな静止感にまで圧縮されてくると、キリコの作品の中に投入され、影の一員という名譽ある地位を与えられたような不安に苛まれ、「おのれの中の風の行方」を見えると言いきった唐十郎を、羨望の憎悪で凝視たりしてしまふ。

高校生であったことは、夢見る十六歳、恋と涙の十七歳、そして思い出す度なつかしい「高校三年生」であったことではないのだ、と理性的にいくら把握し得ても、伝説の中に在る時、それを疑ってみることはできない。だから、非史観的死観による極私視姦は時間の弛緩に無力であるのを知りながら、僕は意

志を排除して、あるいは意志に疎外されているのだろうか。それにしても、ぼくらの初恋が地獄篇であるためには、「キャベツをむくと芯が出る。タマネギをむくと何が出る？」という素朴な問いに、答えられぬことが必要でさえあるのだ。もしも、答え得るなら、「小川宏ショー」における「初恋・天国篇」への招集令状が、ぼくらを決して逃しはしないのももちろん、あの伝説の胎内もぼくらをなま暖く血塗りに、見知らぬ乗客たちと汗ばんだ手をつなぎ合わせることによって、淫らな俯瞰願望の充足に喘だろう。

今のところ、僕の猶予は、どうやら自己罪離を抑制しながら淫を消滅させようという、微熱を伴う試みのためらしい。しかし、言葉はそれ以上のためにも、それ以下のためにもあるのではない。ぼくらは無実の罪人に墮ちる前に、畑のど真ん中で生き返り続けるものをつけねらう、狙撃者に変身できるのだろうか。少なくとも僕にとって、伝説に銃殺された僕の中の銃弾を、まぎれもない僕自身としてとり出せた時以外に、それは不可能なのだ。待たれる前に待ち、愛される前に憎むこと。陥没の色調で孵化された（これでは全く風景のトーンなのだが）後には、敬てた耳に

入ってくる音はない。

高校生の頃、どんなことをしたかという、一見主体的な疑問を、どんなことに関係付けられた自己が在ったかという客体化した疑問に転位し、その心象状況を純粋な言語に焼き付けること。それが必要だ、と書こうとしたのだが、ワルツをロンドにアレンジしてしまつた僕には、一体どこが始まりかも分らない懶惰な饒舌を断言で止揚することもできず、再た明るい眩暈を選んで、いや、選ばれていける逆光のための眩暈の中へ、おずおずと出て行くのが似合っているような氣もしている。

そして、まだ何も始まりはしない。(完)

待望(?)のボーイフ

レンドともめぐり逢えたというのに、あなたというやっかいな代物と付き合わなくてはならないなんて……ここに一年ばかり私の青春に、肉体的にも、精神的にもシミをおつけになって、この間などは約束の時間に一時間も以上も遅れてしまい、ペコペコとバネ仕掛の人形よろしく謝つたりし

ニ ャ ッ ク  
NEAC 1210

篠 木 恵 子



たのなど、皆あなたのせいなんです。

あなたときたら私が忙しいのを知っていないが、ちょっとお手伝い願おうかと出向いてまいりますと、時間外勤務はいやとばかり、テコでも動いて下さらない。それが何処から来ているのか、きつと一ヶ月 ¥151,300もかかるあなたに、形勢は有利に運んでいくのでしょうか。近頃はいいかにあなたとお逢いしなくてはむか、せめてそのガーガー口うるさいのとちよっとだけでも縁遠くなれたら、そんな事を考えてしまいます。

どうも大げさになってしまいました。このやっかいな代物、実を言うと電子計算機なのです。NEAC 1310、これが私の心を悩ませる唯一にして最大のやっかい物。私の残業時間数に比例して最近はこの事で勤務時間中振り廻される。

このやっかい物と付き合い始めては一年。私がこの機械の専任者という事が決定された時は、「私も一人前」という嬉しさ、と尚一層の責任感とが体の中で大きくなり、二、三日はいい気持のものだった。しかしながら、専任者という言葉のなんと都合のよいことか。言ってみれば毎日が機械とのにらめっこで、一ヶ月後には三十時間の残業が余儀な

くされた。月平均三十時間の残業、そして三、四ヶ月後にやってくる五、六十時間の残業。

仕事の簡素化、合理化、その為の機械の導入は、私達機械従事者にとって一体何なのであるうか。聞けば機械の仕事が因で会社を辞めた人が私の前に居たとか。俗にマスコミの言う——コンピュータが未来を拓いているのか。何十時間もの残業に追いまくられる当課において、事務の合理化は、一人の女性の疲労に輪をかけるように進められた。合理化の為のプログラム変更は、忙しさに忙しさを積み重ねる様なものだった。

人間が楽を求めて創造した電子計算機に、人間が斗わなければならない現在、何というこっけいな事か。労働が社会に貢献するものであるならば、現在の私はその社会にこき使われている、どうもそう感じてしまう。いやいや社会にこき使われない為には、自分の忙しさを上司にわかってもらおうべく、声を大にして……？ 声を大にして叫んでみたところが、「ちょっと我慢してもらわないと困るんだがなあ。」そう言った課長代理は、課内旅行で先に酒に酔った方が勝ちと旅館に着くと、さっさと寝てしまいましたっけ。

ああサラリーマン哀歌！ 青春残酷物語！

何でもご気軽にご相談下さい

ピアノ .....

(カイザー・ヤマハ・エテルナ etc)  
一流銘柄取扱致します

第三期卒 柴田 哲夫

自宅 TEL 03 (713) 6431  
勤務先 TEL 03 (281) 2706

骨折・神経痛・リュウマチ

豊北整形外科医院

東京都練馬区豊玉北5の30

電話 (991) 8424

# ラストコーラス

午後4時15分退社。急いで家に帰る。胸をふくらませ郵便受けを見た。からっぽ。風船のようにふくらんだ胸は糸が切れてどっかへ行ってしまったようだ。部屋に入った。小林正子様という字が目飛び込んで来た。それは真白の封筒の上に書かれてあって、机の上に置かれてあった。原稿だ。急いで封を切った……。今までの義務的なもの、苦勞(?)が消えてしまった。こんな氣持、紫筍を読む人にわかるだろうか……。

(小林)

☆  
過去という大きな怪物は、どんなに苦しい嫌な事も思い出という名のもとに、全てを美しく着飾ってしまう。そして人は皆過ぎ去った物を思い浮かべる時、「昔は、ヨカッタ」とあたかもその幸せが目前にあるが如く一時の郷愁に酔いしれる。学生生活の思い出がそんなに速い過去でない私達は、「昔は、ヨカッタ」など思かしくて言えないけれど、「昔の紫筍は、ヨカッタ」と言われる事のないよ

うせめてそれだけでも努力していきたい。

(篠木)

☆  
忙しい忙しい合い間から期日があったがためにどうにかでき上った。大きな期待をもって、とりかかったが、なんせ時間がない、仕事、学校、遊びと多忙な毎日から、編集のために時間をとるのだから当然かも、めっきり多くなってしまった口ぐせに「ああ忙しい」私は、欲ばりなのかしら、あれもしたいこれもしたいと、どれをとっても私にはまだ限界というものがわからない、時間のことなど忘れてしまい、大きな希望をかける、このことも忙しい原因のひとつなのか……

多忙であることによって、自分は何か仕事をしたという錯覚を抱くことが出来る。多忙とは現代における怠惰の一形式ではなかるうか。という言葉が本に載っていたのを思い出す。一瞬考えてしまった、なるほどと思えないこともないから……

でもこの紫筍をゆっくり読んでくださる方のことを思えばさすがうれしいうらやましいという感じである。

☆

(橘)

どうかか発行することができ、非常に喜んでいきます。実際に会報を作ってみて、この仕事が大変なことを身をもって経験しました。特に一年先輩の篠木さんと橘さんの苦勞は並大抵のものではありませんでした。この紫筍を最初から最後まで読んでくださった方には、心からお礼を言いたいと思います。まだ全部読んでいない方は、目を通すだけでもいいですから見てください。そうすることが、同窓生の私達会報係の者に対する唯一の義務であり報いであると思うのです。どうぞお願いいたします。

私は、今回非常に残念に思えた事が一つありました。それは、十人の方に原稿を依頼したのにたった一人の方から原稿が送られてきただけでした。あとの人からは何の連絡もありませんでした。人それぞれ仕事もあり忙しいでしょうが、原稿がないという事が、こういう雑誌を作る者にとってどんなに大変な事であるかということも考えていただきたい。

最後に、原稿を送ってくださった方々には、心から感謝を申し上げたいと思います。この紫筍が少しでも同窓生の心と心をつなぐことを祈って筆をおく。

(橘立)

### 昭和 43 年度 進学 状況

大 学 名	現 役	浪 人	計	大 学 名	現 役	浪 人	計	
《国公立大》				電 機 大	2	1	3	
東 工 大	1	1	2	芝 浦 工 大	1	0	1	
教 育 大	0	3	3	武 蔵 工 大	2	6	8	
農 工 大	2	0	2	東 歯 大	1	1	2	
電 通 大	1	1	2	慈 恵 医 大	1	0	1	
学 芸 大	4	3	7	東 薬 大	2	0	2	
水 産 大	0	2	2	共 立 薬 大	0	1	1	
千 葉 大	2	8	10	東 邦 音 大	1	0	1	
埼 玉 大	10	4	14	武 蔵 野 美 大	2	0	2	
横 浜 国 大	1	0	1	日 女 大	0	1	1	
群 馬 大	0	2	2	実 践 女 大	2	0	2	
帯 広 畜 産 大	1	0	1	大 妻 政 大	2	0	2	
東 北 大	0	2	2	跡 見 女 大	3	0	3	
金 沢 大	0	1	1	東 海 大	1	0	1	
都 立 大	1	4	5	千 葉 商 大	1	0	1	
横 市 大	1	2	3	そ の 他	9	1	10	
《私立大》				《短 大》				
早 慶 大	7	28	35	学 習 院 大	2	0	2	
明 治 大	4	15	19	青 山 大	8	0	8	
中 日 大	11	4	15	共 立 女 大	2	0	2	
日 法 大	12	13	25	東 女 大	6	1	7	
立 智 大	7	7	14	玉 川 大	1	0	1	
上 智 大	4	8	12	女 子 栄 養 大	2	0	2	
東 洋 大	1	6	7	東 家 政 大	1	0	1	
学 習 院 大	3	5	8	跡 見 大	2	0	2	
成 城 大	2	1	3	女 子 美 大	2	0	2	
成 蹊 大	3	1	4	明 治 大	1	0	1	
武 蔵 大	2	2	4	都 立 立 川 短 大	1	0	1	
青 山 大	1	4	5	そ の 他	14	1	15	
明 治 学 院 大	3	2	5	《各 種 学 校》				
独 協 大	1	3	4	都 立 保 母 学 校	2	0	2	
国 学 院 大	1	1	2	中 央 工 学 校	1	0	1	
専 修 大	1	0	1	慶 大 医 付 属	1	0	1	
理 科 大	1	0	1	Y W C A	3	0	3	
	4	7	11	そ の 他	11	0	11	
	国 公 立 大			私 立 大			短 大	
現 役	24			103			42	
浪 人	33			118			2	
計	57			221			44	
							18	

43年就職状況

三井銀行	藤岡早苗	日本航空	高原まり
住友銀行	嶺所芳枝	八幡製鉄	佐々木庸子
"	森静江	東京工業	尾島和子
"	飯田泰子	東京ガス	石井貞江
"	岩崎町子	トヨタ自動車	蛭田正子
"	小久保幸子	住友金屬	竹田敬子
"	小出やよい	日本石油	渡辺啓子
日本勧業銀行	赤地崇子	武田薬品	牧あけみ
"	橋田雅子	サッポロビール	安井律子
富国生命	篠崎妙子	"	吉川とも子
朝日生命	小林正子	東洋現像所	加藤ひろ子
三菱商事	早川洋子	倉敷レーヨン	河合洋
"	小林喜世枝	"	高橋陽子
"	西森喜世枝	川鉄鉱業	高島澄子
日邦商事	小林伸子	ギター製作所	古池敏人
"	広瀬直美	運輸省	今井勇一
丸紅飯田	小野厚子	都庁建設局	加瀬千寿子
三菱倉庫	豊田由理子	"主税局	橋本ひろ美
住友商事	池田初江	九段高校	佐々木誠
渡辺法律事務所	森田千賀子	南高校	安田憲俊
協和貿易	田崎幸枝	小石川工業高校	野々村和子
西友ストア	奥平一恵	区役所	黒田和子
ウエルコン	富田高司	都立養老院	若林幸枝
	守川まさ江	国税庁	木川広文
			西原美地代

若林税務会計事務所

税理士 若林守男 (四期B)

事務所 東京都文京区千駄木二丁目三一番四号

電話 八二一局 九四七六番  
八二七局 七〇一八番

弁護士 渡辺剛彰 (旧1期A)

文京区西片町一〇  
(811) 二九八九・七七〇四

## 表紙のことば

逃げ出したゾウリムシ

僕の不安は押入れに隠れてじっとしている子供のそれに似ている。

「君には敵がいるかい」

「僕に敵がいるものか。天使も貴婦人も僕の隣人さ」

「じゃ、味方はいるかい」

「……」

僕達は懸命に孤独になろうとし、あらゆる手段を用いる。身近で攻撃的な行為、狂暴で交差的な行為、優雅で頹廢的な行為……、独りにならないから。

それでも独りでありうる為にクールなモダンジャズの響きの中で有史以前の熱っぽい血が両刃の剣を振り翳す。

希望や、悲しみや、不安や、無邪気さから出発して凡百の及ばないその盛んな祝祭に酔ってみたい。

誰かが言った。

「僕の生活、それは感性さ」

(小島道夫)

## 紫筍のいわれ

紫筍と題した文京高校同窓会報も、今年で十三回目の発行となりました。『紫筍』ってどういう意味をもっているんだろう？と考えたことのある方も少なくないと思います。そこで、紫筍という言葉のもつ意味を考えてみました。

皆さん御存知のように、紫は文京の校色です。今年の一月に寄贈された校旗にも、紫が地色となっています。さて、筍ですが、これは『たけのこ』とも読みます。『たけのこ』から受ける感じは皆さん同じだと思います。ですから、校色『紫』の文京高校が未来に向って筍たけのこのようにすくすく成長していこうではないか、ということになります。いかがですかこういう意味を感じつつ、この紫筍のページをもう一度めぐってみては……

## お礼とお願い

この紫筍編集にあたり、原稿を投稿してくださった皆さん、いろいろな面で御協力くだ

さった皆さん、どうもありがとうございます。まだ不足な点多いながら、ようやく完成のはこびとなりました。これからの紫筍、あるいは今回の紫筍に対して意見や、希望がありましたら紫筍をよりいっそう皆さんのものとするためにも、是非お聞かせください。

## 秋の文京の催し物

十月五・六日 文化祭

十月 八日 体育祭

皆さん、見に来てください。

## 文京高校同窓会報

### 紫筍 〈第13号〉

昭和43年9月10日発行

発行 渡辺剛章

編集 文京高校同窓会編集部

発行所 文京高校同窓会

東京都豊島区西巢鴨3の853

電話 (910) 8231

印刷 東洋印刷株式会社



